

〔 横浜市旭区民文化センター 〕

令和 4 年度事業報告書

〔 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 〕

施設の概要

施 設 名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所 在 地	横浜市旭区二俣川一丁目 3 番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建の、地上 5 階および 6 階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564 m ²
開 館 日	平成 2 年 8 月 4 日

指定管理者

法 人 名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町 5 番地 1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和 58 年 1 月 22 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

地域コミュニティの中心的な施設として、地域に交流と活性を生み出す地域のハブ的な役割を果たすことを目的とする。多くの区民に、良質な文化芸術に触れる機会を提供し主体的に区民が文化芸術に関わる場を提供する。中でも区民が直接的に文化芸術に関わり、互いに交流できる参加型や地元企業や学校、商店街、アーティスト等と連携する地域一体型の事業に重点を置いて展開した。そしてすべての活動の基盤である施設については、新型コロナウイルス感染症への対策はもちろん、利用者・来館者が安心して利用できるよう安全性の確保を第一義とし、利用者・来館者の立場に立った施設運営を心掛けた。

実施方針

① 地域のネットワークを形成し、活用する

地域の様々な施設や団体との連携し、これまでの運営で培った地域との関係性やそのノウハウを活かしてネットワークづくりを推進する。また、地域のつながりをつくるコーディネーターとしても責任をもって機能し、文化的commonsの形成を牽引するよう心掛けた。

② ワークショップ型事業で区民の交流を促進、担い手を育成する

文化芸術活動に興味関心を抱いた区民を「さらなる鑑賞者」「活動者」「運営者」に育成していくことと区民の交流を主眼に、多様なワークショップ型の事業を実施する。複数回で1クールと

なるような継続的な事業を中心に、文化芸術の体験や、スキル・ノウハウのアップの機会を提供し、区民同士の交流やつながりを創出した。

③ ユーザビリティの検証と利用者拡大のための各種サービスを検討する

利用者・来館者の立場にたった使いやすい施設運営を行う。これまでのサービス体系も見直し、時代にあったサービスの導入や利用規則の見直しなど、利用者等の意見や要望を吸い上げつつ、利用者拡大の改善策として横浜市・旭区と検討した。

④ 幅広いジャンルにわたる文化芸術への接触機会を提供する

区民が日常的に文化活動を行う場の提供として、公共性・公平性をもって誰もが利用しやすい環境を整備する。担い手の育成という観点から、特に「練習」「学習」での利用を促進した。

⑤ オンライン施策の導入と環境整備を進める

ウェブアクセシビリティへの対応等ホームページの改修はじめ、新たなSNS導入の検討や動画配信などインターネットを使った施策に積極的に取り組む。マーケティングリサーチにTwitterを活用するなどSNSの新しい使い方を検討し、既存のアカウントも有効に活用した。

⑥ 安全・安心を優先して運営する

法令等に定められた保守・点検や日常的な保守・維持管理は当然ながら、新型コロナウイルス感染症に対し、公共施設として可能な限りの有効な感染防止対策を施し、誰もが、心から文化芸術を満喫できる施設を目指して施設運営を行う。またSDGsの観点からも、環境保全・健康等へ配慮した管理運営に努めた。

(2) 令和4年度の位置づけ

1. 事業の方針

令和4年度は、2年来コロナ禍において数々の制約を受け、満足に活動することが出来なかったことにより改めて認識させられた「文化芸術活動は人々や社会全体の健康、幸福にとって不可欠なもの」という意識を念頭に、区民が期待する事業を展開していくと共に、同じビル内に位置する㈱相鉄ビルマネジメントとの協業により力を入れ、二俣川駅前でのアウトリーチ活動に注力し、情報発信を強化すると共にサンハートの知名度向上に努めた。

1. 広報活動

オウンドメディアであるホームページの再構築を早急に行い、これまで以上に快適な環境を提供し、各種SNSの有効活用によりきめ細かな情報発信に努めた。

■SNS 活用例

1) HP

館の全ての情報を包括的に分かり易く掲載

2) Instagram

親子向けイベント（未就学児イベントや小学生向けイベント等）

3) Twitter

一般層（20代～60代）向けイベントや、館からのお知らせ全般

4) Facebook

コンサートやイベント後のコラム投稿

5) YouTube

自主事業コンサートに出演予定のアーティスト演奏を事前に視聴可能にし、アーティストプロモーションの助長をするとともに、アーティストの表現の場を広げるツールとしても活用する

2. 活動内容

【使命3】に掲げる「文化芸術の鑑賞の機会を提供」する為の方針として、区民に好評で定着している人気コンテンツは継続し、一方で新たな利用層を掘り起こす為の新規事業にも積極的に取り組んだ。

初年度の主な事業として、下記コンテンツを実施予定

- ・育成事業である「アンサンブルコンクール」を実施し、最優秀賞受賞者によるコンサート
- ・根強い人気で固定ファン層が付いている落語「あさひ亭まねき寄席」の開催
- ・低料金で良質な音楽を提供する「ワンコインコンサート」
- ・NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と連携する「畠山重忠」関連の催し
- ・地元企業と連携するアウトリーチ事業
(相鉄ビルマネジメントとの連携による二俣川駅周辺でのアウトリーチ活動)

2. 運営の方針

1. 利用者にとって使いやすい施設の実現

公共の施設として、誰にとっても利用がしやすい公平性のある対応を基本とし、効率性にも配慮した対応を行う。特に、アートギャラリーについては新しい利用法を提案しながら、利用の可能性を追求し、利用促進につなげていく。

2. 利用許可における公共性・公平性の確保

「横浜市民利用施設予約システム」(以下「予約システム」という。)を的確に運用し、公共性・公平性の確保に努める。特に利用内容、利用日数などの調整にあたっては、公共性・公平性に十分配慮し、より多くの利用者に施設を利用いただけるようにする。

3. 適切かつ確実な業務体制の維持

受付貸出業務については、「施設運営マニュアル」「予約システム運用マニュアル」等を整備し、全職員・スタッフが統一のとれた対応を行う。受付窓口では利用状況に応じて事務室職員も窓口業務を行うことで適切で確実な利用者対応をする。

4. 利用状況の集計・分析

「予約システム」を活用し、施設利用者を定期的に集計・分析し、利用者サービスに繋げる。また、旭区所管課にモニタリング等を通じて報告、情報を共有し、貸出業務の改善を進めていく。

3. 管理の方針

旭区民文化センターは開館して30年以上経過している。施設維持保全管理を行っていくうえで設備の経年劣化など突発的な不具合が生じる可能性が高くなることが想定されるため、ビルメンテナンスのスペシャリストとして豊富な実績やノウハウを活かして施設を維持管理する。区民に末永く施設を利用いただけるよう施設の長寿命化を目指す。

1. 一体管理によるスケールメリット

構成団体である相鉄企業は、旭区民文化センターが設置されている二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務、建物維持管理業務を受託しているため、旭区民文化センターも併せた一体管理が可能で、スケールメリットを最大限に活かした維持管理業務を実現する。

2. 設備管理業務

予防保全を第一に日常点検を行う。五感を駆使した点検や検針値による数値の確認により、異臭、異音、異常な温度など、異変をいち早く察知するよう心掛ける。

専門業者による定期点検も実施し、日常点検だけではわからない設備の状況を把握する。

これらの点検内容を日々検証し、維持管理計画の見直しを行う。

3. 安全衛生

利用者や従業員の安全を確保することを第一に考え、警備・清掃を行う担当者は、常日頃から感染予防の重要性を認識して業務を行う。また、適切な感染防止対策を実施することが事業の継続性確保につながることを認識して業務に取り組む。

2 自主事業に関する計画

(1) 文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは大分類として「鑑賞事業」「交流事業」「創造事業」の3つに分け、中分類として5つに、更に小分類として7つのカテゴリーに分けて計画、実施していく。

大分類	中分類	小分類	イベント名
鑑賞事業	プロフェッショナルな芸術家による文化芸術の創造・発信	個性的な公演事業	● サンハート・旭の響き ● あさひ亭まねき寄席
	未来への架け橋となる地元・若手アーティストの育成・普及	アーティストの支援	● 最優秀賞受賞者記念コンサート ● 気軽に寄り道コンサート ● ワンコインコンサート ● アンサンブルコンクール
交流事業	地域の共生拠点・文化の発信地	文化芸術と社会的包摂	● オープンデー ● アウトリーチ
		子供の芸術体験を支援	● 読み聞かせ ● すくすくキッズプログラム ● 夏休み子ども体験講座
		地元との連携	● 美音倶楽部

			● あさひ名画座企画委員 ● ウェルカムギャラリー
創造事業	サンハートによるプロモーション事業	参加をして楽しむ	● 演劇ワークショップ ● ゴスペルワークショップ ● 小規模ワークショップ
	その他・シーズン企画	その他・シーズン企画	● ホールでピアノ ● アートマーケット

	取組内容	達成指標	実施内容	達成状況
鑑賞事業	プロフェッショナルな芸術家による文化芸術の創造・発信			
	＜個性的な公演事業＞ □ トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演を開催する。	□ 新たにシリーズものとして「サンハート・旭の響き」という名題のコンサートを設定し、指定管理期間5年間を通して同一アーティストの継続出演と、その年毎にテーマを掲げてシリーズを実施する。	□ 出演者都合により、実施中止。	□ 出演者都合により、実施中止。
	未来への懸け橋となる地元・若手アーティストの育成・普及			
	＜アーティストの支援＞ □ アーティストが音楽活動を通じて社会貢献ができる仕組み作りをするために、人材育成をする。	□ アンサンブルコンクールにて若手アーティストを発掘し、サンハートの顔として館内公演やアウトリーチ活動など幅広く出演依頼をする。	□ 最優秀受賞記念コンサート、ワンコインコンサートに出演頂いた。また、アウトリーチに関しても積極的に受賞メンバーに声を掛け開催となった。	□ 最優秀賞を受賞した「上手に奏で隊」だが、サンハートでは初のストーリー仕立ての公演（ヘンゼルとグレーテルの音の大ぼうけん！）を行い、今まで未就学児が多かった公演層が小学校低学年の子の来場者も増え、新しい客層を得ることが出来た。
交流事業	地域の共生拠点・文化の発信地			
	＜文化芸術と社会的包摂＞ □ 活力ある地域社会の実現のために、文化芸術を通して人との繋がりや地域の結束を強めるほか、社会	□ 地域の特性に応じた配慮あるニーズを探り、あらゆる人が音楽・芸術を通して交流できる低	□ 毎年あさひ亭まねき寄席で依頼している落語芸術協会からの紹介で、「マジック体験」「寄席文字講座」を実施	□ あさひ亭まねき寄席によく来場される常連の方の参加もあった。当施設で根付いている寄席の派生イベント

	参加の機会を拡充し、地域コミュニティの発展につながる運営を行う。	価格で良質なコンテンツを提供する。	した。	を他より低価格で実施することが出来、また開催してほしいという声も複数頂いた。
	<子供の芸術体験を支援> □ 次世代の芸術文化の担い手である子供たちに対し、芸術を通して共生社会の中で書くことのできない想像力や思考力、コミュニケーション能力などの自己表現能力を養うため、文化芸術を享受できる環境づくりを整える。	□ 発達段階に応じた鑑賞プログラムや創作活動の機会を設け、子供たちの可能性を広げ、かつ好奇心を掻き立てるような事業展開をアプローチしていく。	□ 夏休みの時期に、「オシゴト体験」「合気道」「演劇ワークショップ」「プログラミング体験」と講座形式・体を使って学ぶプログラムを多数用意した。	□ 各イベント年齢に応じてクラス分け編成をし、月齢にあった内容で実施することによって講座の理解が深まる内容となった。高学年向けになると集客が難しくなるのが今後の課題である。
	<地元との連携> □ あさひ名画座シリーズにおいては、引き続き地域の方々を中心とした実行委員方式を取り、地域の特性に応じた配慮あるニーズを共に探っていく。	□ 事業の企画・実施及び広報など多岐に渡る運営を「あさひ名画企画委員」に委ね、地域コミュニティの一つとして確立させる。	□ 今年は本数を増やし、年5回の開催とし、そのうち2回を初めて平日の上映会として実施した。	□ 平日開催でもある一定数の来場者を獲得することが出来たので、映画の内容次第では今後も平日開催を視野に実施していきたい。また、6月に開催した「ひまわり」の上映会ではウクライナ募金を行った。
	□ 有料制のウェルカムギャラリーを無料制に変更し、より多くの作品展示を展開していく。	□ 地域活動支援センターや作業所などと連携を図り、製作している作品等を展示することで施設・作業所利用者の発表の場を設け、地域で支えていく仕組み作りの一部を担う。	□ 無料制にしたことにより、気軽に展示して頂ける傾向となった。以前とは異なる利用者からのレンタル需要があった。	□ アートマーケット&ワークショップ開催月は、出展者に協力してもらい、作品展示を依頼した。イベント実施の宣伝効果にも繋がった。
創造事業	サンハートによるプロモーション事業			
	<参加をして楽しむ> □ 参加者同士が一つの体験を共有し、意見交換や、対話をする機会を設けることにより、コミュニティに活力を与え、社会との距離を近づける。	□ 既存の演劇ワークショップの他、小規模のワークショップを複数設け、地域の方のサードプレイスを提供する。	□ ゴスペルワークショップ、合気道体験、ヨガ体験、読書会、マジック、寄席文字講座と多岐にわたって小規模ワークショップを実施した。	□ どのワークショップも大変反響があり、非常に高い満足度を得ることが出来た。合気道・ヨガに関しては YCV の撮影も入り、旭区としても注目さ

				れるイベントとなった。
	その他・シーズン企画			
	<その他・シーズン企画> □ 空き施設の有効活用を目的とした企画を設ける。	□ 施設の有効活用と収入向上のため、既存イベントであるホール時間貸し（ピアノ練習）を引き続き実施していく。	□ 大人気である「ホールでピアノを弾いてみませんか」は、当日キャンセルや申込方法の複雑さを改善させるために、「チケットペイ」を導入し、より申込方法を簡略化させた。	□ 「チケットペイ」の導入に使用方法が分からず、最初は既存利用の方から問い合わせが何件かあったが、直接来館（お電話）頂き、説明することによって、問題なく利用出来る流れとなった。チケットペイにしたことで、当日キャンセルも減り利用率が上がった。
	□ 季節に合わせたイベントを実施し、幅広い市民に向けた他分野にまたがるコンテンツを設ける。	□ 今年度は手作り作品を販売するアートマーケットをクリスマス前に開催し、製作者に対して作品発表の場を設けるほか、季節感あふれるレイアウト構成をしていく。	□ 3年振りの開催となり、再開を待ち望む声を多く頂くことが出来た。今回は、出店料をチケットペイでのお支払にし、事前説明会をzoom開催とし、コロナ対策を行った。	□ コロナ前に行った際より、集客数が減少する結果となった。ジョイナステラスでも似たワークショップイベントが開催されていたのも原因の1つと言える。次年度は、購入者のターゲット層に注目してもらえそうな広報宣伝をしていきたい。

(2) 地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務める。	□ 地域を絞り、カフェやケアプラザ、地域公共施設へアウトリーチ活動の宣伝資料を配布し、「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やしていく。	□ 昨年度まではコロナの影響で減っていたアウトリーチ依頼があったが、今年度は継続頂いている実施施設の他に新規依頼を複数ご依頼頂く結果となった。	□ 新規でアウトリーチの演奏を受けた団体のお客様で、当館のアウトリーチ事業に興味を持って頂いた方が数名おり、結果的にその後2施設での新規演奏会依頼に繋げることが出来た。同じアーティストでご希望頂くなど、アーティストの普及活動に貢献する

●未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティの形成へと繋げていく。	□ 未就学児や小学生の子を持つ親に、サンハートを情報収集の場として「認識」してもらえるよう、チラシ配架棚をより見やすいレイアウトにしたり、各種 SNS で未就学児向けの情報コンテンツを取り扱っていき、保護者が情報の渦に飲み込まれない土台作りを行う。 また、保護者にヒアリングを行い、今地域で求められていることの情報収集し、事業に反映していく。	□ 子供向けイベントは、チラシに続き SNS での周知が大事であるため、こまめに情報を更新する様に心掛けた。	ことが出来た。 □ 「オシゴト体験」などキャンセル待ちの変動が多くあるイベントについては手軽にお知らせが出来る Twitter や Instagram のストーリー機能を使用し、リアルタイムで更新を心掛けた結果、当日の空き枠を減らすことが出来た。
---	---	---	---

(3) 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●ともに作る:「区民企画委員」の仕組みを継続する。	□ 区民企画には、既存のイベントの他に新規企画の立ち上げを依頼し、新たな顧客層の開拓へとつなげていく。	□ 区民企画委員の名前を「あさひ名画座委員」に変更し、映画に特化した委員として活動を行った。	□ 「あさひ名画座」に名前を変更したことにより、今年度は新規で2名の方が活動に加わった。また、チラシの作成など自ら行うなど、あさひ名画座委員としての仕事内容の幅を広げることが出来た。
●ともに進める:「運営サポーター」の仕組みを継続する。	□ イベント開催時に運営に携わることで、サポーター同士の交流やコミュニティ形成促進を図り、更に	□ 新型コロナウイルス感染症の影響により、運営サポートシステムを一時中止。	□ 新型コロナウイルス感染症の影響により、運営サポートシステムを一時中止。

	施設の運営をより良いものにしていくために、等身大の意見をサポーターから提案していただくことによって、地域全体で支え合う親しみやすい文化施設運営を目指す。		
●ともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援する。	□ アウトリーチに関して、自主事業担当者の立ち合いがなくとも開催施設に訪問できるようにしていく。	□ 事前の聞き取り調査を丁寧に行うことにより、当日スムーズに対応出来る様に心掛けた。	□ 若葉台地区センターの読み聞かせについては、当日運営全て読み聞かせサポーターに一任し、トラブルもなく終了することが出来た。
●ともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等でともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリードし推進する。	□ 若い世代をサンハートの利用者として取り込んでいくため、未就学児向けのイベント時に、保護者に対してアンケートや意見交換の場を設け、館としての課題を浮き彫りにしていく。	□ 未就学児向けイベントのアンケートを集計する際は、具体的な質問をする様に心掛けている。	□ 昨年度のアンケートを参考に今年は「プログラミング講座」を実施したため、ある一定の集客を集めることが出来た。次年度以降もアンケート集計結果で方針を考える様対応する。

3 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やす。	□ 施設利用者の発表会を広報支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させる。	□ 施設利用者の発表会やサークル活動のチラシ等の掲示・配架・主催事業での挟み込み等の協力を行った。	□ 施設利用で演奏会等される団体のチラシは、他館チラシと一目で分かる様に、チラシラックにポップを作成し、分かりやすい様に対応した。

●アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握する。	□ 各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握しサービス向上に努める。	□ 利用者懇話会は定期的にミーティングルームを使用して下さる団体「俳句会あかざ」に依頼した。	□ 情報コーナーの再開を待ち望む声を多く頂いた。また、ミーティングルーム利用者ならではの、部屋の防音機能をもう少し改善の声を頂いた。旭区役所にも共有する等、対応した。
●サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図る。	□ 改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行う。引き続きジョイナステラス各店舗と連携するなど会員特典の充実等を図り、会員数増をめざす。	□ 二俣川ライフ・ジョイナステラスの会員特典依頼を集い、新店舗が入る度に依頼に行き、ご協力をお願いに伺った。	□ 令和2年度で落ち込んだ会員登録数が徐々に戻りつつある。

(2) 的確な施設提供の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●効率的且つ安定した施設の開館・運営を行う。	□開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日 施設点検・消防設備点検 14 日	□開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日 施設点検・消防設備点検 14 日	□コロナウィルスの影響による時短営業を強いられることなく運営を実施した。
●利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図る。	□様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努める。	□アンケート収集や利用者懇談会からの声を積極的に取り入れたHPの改善を実施した。	□アンケートや懇談会に限らず、日々利用者から届く声にも対応を実施した。
●施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスをを行う。	□舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相	□舞台技術（音響・照明）の専門職員が常駐し利用者の相談に丁寧に応	□舞台技術担当職員の対応に多くの利用者から高い評価をいただい

	談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応する。	えると共に、利用時もしきめ細かな対応を実施した。	た。
●周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献する。	□二俣川ライフ、ジョイナステラス、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線駅との連携事業を展開していく。	□相鉄ビルマネジメントが主催にて実施するジョイナステラスの販促イベントのステージに演者の斡旋を実施した。	□二俣川駅周辺でのイベントステージに協力することで賑わい造りの一助を果たした。
●施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図る。	□ワンコインコンサートを引き続き実施するとともに、施設の有効活用を図る。	□ワンコインコンサートにおいてはコロナ禍からの来場者数減少からの回復が進み、未就学児でも参加できる午前の部に増員が見られた。	□施設の有効活用では、アートギャラリーの空きを有効活用する為、借り上げ日数を臨機応変に対応し稼働率向上に努めた。
●利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信する。	□予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信する。	□館内に数か月先までの予約状況を掲出し情報提供を実施した。	□提供する情報の更新の頻度を上げ、リアルタイムな情報となるよう心掛けた。ネット環境に不慣れな高齢者には電話や窓口で丁寧な対応を実施した。

(3) 的確な広報の展開について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担う。	□情報コーナーでは、旭区が行うNHK大河ドラマを契機とした畠山重忠公に関する情報発信に協力するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど文化芸術情報を得る事ができるよう整備する。	□情報コーナーにて旭区から提供されたNHKドラマ「鎌倉殿の13人」のポスターを掲示するとともに畠山重忠のパネル展を実施し、旭区が制作したMAPをはじめとする印刷物の配架を実施した。	□印刷物の配架と同時にNHKが用意をしたドラマ出演者のはがき（写真）への多くの問い合わせに対して地域振興課にて配布している旨を案内した。
●情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施する。	□毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイムな更新をはじめ、当事業体ならで	□人気プログラムの「ホールでピアノ」の申し込みを「チケットペイ」に	□電子化により利用者が増えると共に当日キャン

	はの媒体（交通広告・ 広報紙等）を有効に活 用しPRを行う。	て対応させ電子化を実施 した。	セル回避に繋がり収益向 上にも寄与した。
--	--------------------------------------	--------------------	-------------------------

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

[取組内容] ●事業企画・施設管理・ 舞台技術の経験・実績豊 かな職員・専門スタッフ と、区民をはじめとした 地域スタッフを配置し、 全ての職員が適切なコス ト感覚、効率的な管理とホ スピタリティ精神をもっ た運営を行う。	[達成指標] □以下の通り人員を配置 し運営する。 【運営スタッフ】※2 交代、常時2名以上配置 館長 1名 副館長 1名 職員 5名 【舞台技術】※利用状 況により2～4名 職員 4名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ 12名（地域採用）	[実施内容] □【運営スタッフ】 ※2交代 常時2名以上 配置 館長1名・副館長 1名・職員5名 【舞台技術者】職員4名 ※利用状況により1～3 名にて対応 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ 13名 総勢24名のスタッフが 常時5名以上で運営	[達成状況] □運営スタッフ7名、舞 台技術者4名、受付業務 に習熟したカルチャース タッフ13名との相互協 力により円滑で効率的な 管理運営を実施した。
●職員・スタッフの施設 運営スキルア ップのために研修を実 施する。	□機材研修、個人情報保 護研修、消防訓練等を 実施し、運営に役立て る。	□消防・防災訓練、個人 情報研修を実施した。	□消防・防災訓練、個人 情報研修を実施した。

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をする。サンハートは開館から30年以上経過し、設備全体が老朽化してきている。それらの状況を踏まえた上で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めていく。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

[業務内容] ●安全・安心できる施設 の維持	[達成指標] □設備等保守管理項目を 遵守し、定期的な施設 点検を実施する。	[実施内容] □建築物点検マニユア ル、建築物定期報告に 準拠した点検を実施し た。	[達成状況] □二俣川駅北口共同ビル 設備係協力のもと、安 全な施設の維持ができ た。また、計量法で定 められた有効期限に合 わせて水道メーターの 取替工事を行った。
--	--	--	---

●定期的な設備点検	□老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図る。	□建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施すると共に、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応した。	□開館後 30 年を経て老朽化した施設・設備の定期点検を実施し、安全な施設の維持に努めた。
●必要に応じた緊急点検	□月 1 回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年 1 回行う。	□建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施すると共に、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応した。	□開館後 30 年を経て老朽化した施設・設備の修繕すべきところを必要性・緊急性に応じて対応した。
●施設設備の予防保全	□施設設備等の中長期修繕計画や修繕・改修について、早めに施設情報を提供し、関係各所に働きかけるとともに利用受付・打ち合わせ時に利用者に備品や設備の正しい取り扱いを説明し、安全で確実な利用を促進する。	□修繕・改修について、早めの情報提供、関係各所への手配を実施した。また、備品や設備の取り扱い・注意事項の資料作成、掲示をした。	□日々の状態確認や専門業者による定期保守点検の結果をもとに、修繕計画の見直しや、緊急性の高いものから情報提供し、修繕・改修を要望した。

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●安心できる環境の維持	以下 8 点を達成指標とする。 ①清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施する。 ②美観を維持するように取り組む。 ③環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努める。 ④空気環境測定（VOC 等含む）を実施する。 ⑤社内による、業務の品	① 日常清掃、定期清掃を計画どおり実施した。 ② 職員・スタッフ全員が常に整理整頓を心がけ、快適に利用できるように努めた。 ③⑥ 館内にはゴミ箱を設置せず、ご利用者にはごみの持ち帰りを促した。受付カウンターおよび事務室内	① 各清掃をもれなく実施し、快適な環境保持と美観の維持に努めた。 ② 情報コーナー片隅の植木鉢花により、館内を明るくソフトな雰囲気にした。 ③⑥ ゴミ箱の撤去により、ごみの減量化に対する来館者の意識を高めると共に、事

	質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定する。 ⑥ヨコハマ3R夢など市の施策や事業に協力する。 ⑦空気環境測定結果の報告書を作成する。 ⑧消毒液の設置、設備・備品等の消毒作業など新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。	のごみについて減量化に努めると共に、ごみ分別を徹底した。 ④⑦ 空気環境測定を2ヵ月に1回(奇数月)実施し、報告書を作成した。 ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策下においては、開館前と手で触れる共用部分を定期的に消毒するようにした。 ⑧ 館入口、トイレ前、各室前に消毒液を設置し、利用者には備品消毒セットを用意した。	務室内のより細かいごみ分別に努め、確実に実施できた。 ④⑦ 定期的に実施することにより、安心してご利用いただける環境づくりができた。 ⑤ 日常清掃とは別に、開館前の各室、受付周りや共用部分を定期的に消毒した。 ⑧ 開館前と手で触れる共用部分の定期的消毒と利用者には利用後の備品の消毒を協力いただき、感染拡大防止対策を徹底できた。
--	--	---	--

その他の計画

(1) 危機管理対策について

[取組内容] ●緊急時の対応	[達成指標] □緊急内容別（事故、犯罪、火災、設備故障など）に連絡網の整備を行う。	[実施内容] □緊急時連絡網を整備・作成し、旭区に提出した。	[達成状況] □人事異動の都度名簿を作成したため、緊急時には遅滞なく対応を図ることが出来た。
●利用者の安全・安心を確保	□大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整える。	□防災設備の確認と訓練を行った。	□緊急時に円滑に機能するよう、全職員・スタッフが災害対策訓練に参加した。

●防災管理	以下 5 点を達成指標とする。 ①平成 24 年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備える。 ②緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出する。 ③近隣在住職員をあらためて確保する。 ④事故、犯罪及び火災等を発生させない為に、職員による定時巡回を実施する。 ⑤消防計画書を作成し、自衛組織を結成することで、日常の防火・防災に努める。また、催事の際は、避難導線の確保等の指導を行うとともに、消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年 2 回防火・防災訓練を実施する。	① 社会福祉協議会の協力の元、研修を予定していたが新型コロナウイルスの影響にて開催出来なかった。 ②人事異動があった際は、連絡網を都度更新・提出した。 ③当館職員およびスタッフは、相鉄線沿線在住者を中心に採用し、万が一の際に迅速な対応ができるよう備えた。 ④防災センター警備員による定時の巡回に加え、随時当館職員・スタッフが館内を巡回し、異常を早期発見・早期対処できるよう努めた。 ⑤消防計画書を作成し、日頃より防火・防災に努め、安全確認のチェックを日々行った。また、催事の際には利用団体の責任者に対し、事前に避難誘導確保についての指導を行った。	① コロナウィルスの影響により実体験を通じての研修を実施する事が出来なかった。 ②職員は常に最新の連絡網情報を得ており、有事の際はこれに基づき対応するよう周知徹底を図った。 ② 受付カルチャースタッフ 13 名と職員 3 名は、旭区在住ないし相鉄線沿線在住者で構成されている。 ④各職員・スタッフが適宜館内を巡回および事務室内モニターにて各室場内を確認し、安全・安心の確保に努めた。 ⑤消防計画書を作成し、防災訓練を実施した。全体が一同に会して訓練を実施することにより職員・スタッフの意識を高め、緊急時に迅速・的確な対処ができるよう備えた。
--------------	---	--	---

(2) 自己評価・PDCAサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）	□業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告を	□日々の業務内容を業務管理日誌、舞台業務日報、業務週報に記載	□業務管理日誌、舞台業務日報を通じて日々の業務に関する職員間の情報

	おこなう。	し、情報の共有と周知を図った。	共有の徹底に努めた。また、受付スタッフに対しては常用連絡ノートおよびミーティング議事録の回覧などを用いて情報共有、連絡強化を図った。
●業務計画書及び業務報告書の作成 ・管理（利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定）	□PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取り組む。	□寄せられた意見を盛り込みつつ「令和4年度事業計画書」および「令和3年度業務報告及び収支決算」を作成し旭区役所に提出した。	□事業計画書及び事業報告書は旭区役所のホームページに掲載され、利用者が閲覧することが出来た。
●モニタリングの実施（モニタリングへの対応・体制の整備）	□業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築する。	□月報の形式で月毎の運営管理報告を作成し、毎月旭区および共同事業体への報告を行った。	□モニタリングでは運営管理業務実績の報告及び業務に関する打合せを実施し、施設・旭区との情報共有、協力体制の構築を図った。
●自己評価の実施（PDCAサイクルの導入と確実な運用）	□利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組む。	□毎月定期的に運営・技術職員が参加する、全体ミーティングを実施した。	□職員各々が報告・確認・提案などを行い、施設の運営管理および自主事業実施にあたっての問題を検討しながら最適な選択を行った。

6 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●管理運営コストの削減に努める。	以下の3点を達成指標とする ① 無駄な光熱水費の削減 ② SDGsの観点からもチラシ等の印刷関係費を可能な限り削減し、SNSでの積極的な展開 ③ 予防保全の考え方に基づいた計画的な修繕、日常点検により不具合や破損等の早期発見による修繕費の低減	□館内照明や冷暖房のこまめなオン・オフを行い光熱費の削減に努めると同時に、当館常設の楽器類のメンテナンスにおいては極力職員により軽微な修繕を実施し削減に努めた。	□過去に類を見ない光熱費の高騰に対応するため、修繕費を極力抑える努力をしたが、物価高騰に伴う光熱費の上昇額が想像を遙に超えた状況となり大幅な増額となってしまった。

(2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●事業収益向上、規制緩和による新規利用層の獲得	以下3点を達成指標とする。 ① 幅広い世代の利用者を獲得する為にジャンルを広げた自主事業による収入増を見込むと共に貸館利用層の拡大を目指す ② まだ利用率向上の余地がある諸室の利用規則の緩和や見直しを横浜市・旭区と共に検討し柔軟な対応により新規利用層の獲得を目指す ③ 諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、	① 人気プログラムであるワンコインコンサートの積極的な開催や地域ボランティアの活動による「おはなし会」を積極的に展開した。 ② アートギャラリーの空き状況に対して、臨機応変な貸し出し対応を実施した。 ③ ホームページ改修作業が当初計画より遅れ、諸室の空き状況は紙による掲示をこまめに実施した。	① ワンコインコンサートの未就学児対象のプログラムにおいて子育て世代の方の利用が「ロコミ」により増員傾向が見られた。 ② アートギャラリーの基本的な貸し出しルールを順守しながら貸し出し日数の短縮等を検討した結果、いくつか利用者を獲得することが出来た。 ③ 空き状況への問い合わせに対して、窓口・電話にて丁寧な対応

	収益の向上を図る		を心掛け実施した。	
--	----------	--	-----------	--

(3) 収支予算書

項 目	予算額	決算額	増減額	備 考
収入				
指定管理 料収入	108,279,000	112,672,000	4,393,000	物価高騰に伴う光熱費補填額
利用料金 収入	27,000,000	24,932,620	△2,067,380	
事業収入	4,500,000	7,165,596	2,665,596	
その他収 入	1,240,000	610,470	△629,530	
収入合計	141,019,000	145,380,686	4,361,686	

支出				
人件費	71,070,000	74,799,115	3,729,115	
事務費	6,476,000	5,523,073	△952,927	
事業費	5,500,000	4,874,091	△625,909	
管理費	57,640,000	59,779,501	2,139,501	
公租公課	12,000	4,000	△8,000	
事務経費	321,000	321,000	0	
支出合計	141,019,000	145,300,780	4,281,780	
収支差額	0	79,906		

【自主事業一覧】

(税込／単位：千円)

分類	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・ 受講料	入場者数
鑑賞	12 月	サンハート・旭 の響き	音楽ホール	ピアニストの「森下唯」 を指定管理期間の 5 年 間を通して招致し、毎 回異なるテーマを掲げ て演奏会を実施する。 今年度のメインテーマ は「シューマン」を予 定。	中止	中止
鑑賞	計 3 回 5・8・1 月	あさひ亭まねき 寄席	ホール	著名な真打や若手落語 家による公演。落語だ けではなくマジックや 寄席文字、紙切りなど の色物も加え、バラエ ティに富んだ演目で動 員を図る。	5 月 一般 2,000 円 高校生以下 1,000 円 ペア券 3,500 円 8 月 一般 3,000 円 高校生以下 2,000 円 ペア券 5,000 円 1 月 一般 2,500 円 高校生以下 1,500 円 ペア券 4,000 円	5 月 174 名 8 月 217 名 1 月 195 名
鑑賞	9 月	最優秀賞受賞者 記念コンサート	ホール	アンサンブルオーディ ションにて最優秀賞を 受賞した組による、良 質なクラシックコンサ ート。今年度は子供向 けと大人向けの 2 ステ ージを予定しており、 「上手に奏で隊」が出 演する。	11 時 一般 500 円 小学生以下 300 円 ベビーカー 席 300 円 14 時 一般 1,000 円 高校生以下 800 円	11 時 157 名 14 時 103 名
鑑賞	年 2 回 6・2 月	気軽に寄り道コ ンサート	音楽ホール	仕事帰りに立ち寄れる 19 時以降に開催する大 人のためのコンサ ート。クラシックに限ら ず、多ジャンルのコン テンツを設ける。	一般 2,000 円 高校生以下 1,500 円	196 名

鑑賞	年 3 回 5・7・3 月	ワンコインコンサート	ホール	アンサンブルオーディションにて優秀賞を受賞した組による、子供向け・大人向けの 2 公演コンサート。低価格なチケット料金に設定し、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	500 円 ※2 歳以下 膝上無料	5 月 11 時 96 名 14 時 171 名 7 月 11 時 156 名 14 時 183 名 3 月 11 時 157 名 14 時 157 名
鑑賞	10 月	アンサンブルオーディション	ホール	地域のアマチュア音楽家や近隣の音大生を対象に、器楽を中心としたアンサンブルのオーディションを実施する。入賞者は主催事業での出演機会提供の他、アウトリーチ事業への派遣アーティストとして、積極的に発信していく。	参加費 5,000 円	出場者 32 名
交流	8 月	オープンデー	全施設	全館で無料や低価格のイベント、さらに市民参加型の催しを行い、普段サンハートを利用されない方や家族連れが気軽に施設に立ち寄っていただくきっかけを提供する。	6 弦の記憶 一般 2,000 円 高校生以下 1,000 円 ペア券 3,500 円 子供演劇 WS 1,000 円 オシゴト体験 1,000 円 ミニコンサート 無料	まねき寄席に計上 6 弦の記憶 85 名 子供演劇 WS 40 名 オシゴト体験 106 名 ミニコンサート 85 名
交流	計 10 回 学校 4 回 福祉 3 回 その他 3 回	アウトリーチ	旭区内各所	小学校へアーティストと共に訪問する学校プログラムの他、福祉施設や保育園等へ、出前コンサートやワークショップをお届けする。オーディション受賞者への演奏機会提供の場も兼ねている。		学校 6 回 福祉 1 回 その他 4 回
交流	通年	ウェルカムギャラリー	エレベーター横	エレベーター横の窓際に設置してあるレンタルボックスに、地域活動支援センターや作業所等で製作している作品等を展示し、施設・作業所利用者の発表の場を設ける。	無料	30 人

交流	月 1 回	おはなしかい	ホール	未就学児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせ会。サンハートの読み聞かせ講座を修了した「読み聞かせサポーター」が企画運営を担当する。館外からの依頼も積極的に引き受け、絵本の読み聞かせを通じた地域貢献を目指す。	無料	延べ 233 名
交流	通年	すくすくキッズプログラム	ホール カルチャー 工房	未就学児の中でも特に乳幼児を対象に、初めての音楽やアート、演劇といった文化芸術に触れあう機会を提供する。	ワンコイン・最優秀 午前中に記載	ワンコイン・最優秀 午前中に記載
交流	7・8 月	夏休み子ども体験講座	ホール／カルチャー 工房	各分野の講師を招き、夏休みの期間中に小学生を対象とした参加型の講座を開設する。今年度はダンスとプログラミングの 2 講座を開催予定。	合気道 800 円 プログラミング 2,000 円	合気道 23 名 プログラミング 50 名
交流	通年 月 1 回	美音倶楽部	会議室	サンハート独自の真空管アンプを使った会員制のレコード鑑賞会を行う。		※新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
交流	通年	あさひ名画座企画委員	ホール	区民企画委員のネーミングから「あさひ名画座企画委員」に変更し、映画イベントに特化した企画・運営を行っていただく。	一般 800 円	君は恋人 142 名 ひまわり 181 名 狂った果実 112 名 雨に唄えば 135 名 日本フィルハーモニー物語 191 名
創造	7 月	演劇ワークショップ	ホール	講師に文学座の演出家「中野志朗」を迎え、演劇を通じたコミュニケーションのスキルアップを目指したワークショップを開催する。今年度はドラマチックリーディングの形式を取り、計 6 日間の短期間ワークショップとして実施する。	一般 12,000 円 ユース割 10,000 円	昼コース 20 名 夜コース 20 名

創造	11 月	ゴスペルワーク ショップ	ホール	講師にゴスペルスパークル率いる「金井恵理花」を迎え、幅広い世代を集めたワークショップを開催する。楽譜の譜読や英語の理解力は不要であり、初心者でも参加しやすい開かれたワークショップを目指す。	一般 10,000 円 ユース割 8,000 円	第一部 19 名 第二部 32 名
創造	通年	小規模ワーク ショップ	カルチャー 工房／ミー ティングル ーム	サンハートが地域の方々のサードプレイスになるよう小規模ワークショップを複数開催し、「交流の場＝サンハート」の図式が定着できることを目標とする。今年度は「シニア向けヨガ」「合気道」「読書会」など、多岐に渡るコンテンツを予定している。	合気道 800 円 ヨガ 500 円 読書会 500 円	合気道 延べ 75 名 ヨガ 延べ 34 名 読書会 延べ 28 名
創造	通年	ホールでピアノ	ホール 音楽ホール	サンハートのホール・音楽ホールのフルコンサートグランドピアノを 1 時間単位で試弾できる企画。	一般 2,000 円 友の会 1,800 円	延べ 556 名
創造	11 月	アートマーケッ ト／ワークショ ップ	アートギャ ラリー／カル チャー工 房／ミーテ ィングルー ーム	出店者による手作りアート作品を販売するイベント。同時にワークショップも開催し、老若男女問わず参加可能なジャンルを実施していただく。	出店料 アートマー ケット、ワ ークショッ プ共に 2,500 円	アートマーケット 34 店舗 ワークショップ 8 店舗 1 日目 ア 147 名 ワ 40 名 2 日目 ア 364 名 ワ 45 名
	通年	サンハート友の 会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	1,300 円	71 名
	通年	備品購入 郵送費		自主事業に必要な備品購入費や、他館へのチラシ発送費など。		
	通年	取材・打合せ諸 経費		その他諸経費		

※ 入場見込数について

基本的には 100%の集客をできることを前提として来場者数を記載しているが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、集客人数を半数に減らすこととなった場合は 50%の集客となるので、括弧内に 50%集客バージョンの人数を入力している。

令和４年度 「旭区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	108,279,000		108,279,000	112,672,000	△ 4,393,000	横浜市より物価高騰に伴う光熱費補填額
利用料金収入	27,000,000		27,000,000	24,932,620	2,067,380	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	670,000		670,000	694,628	△ 24,628	STロボット事業収入
自主事業収入	3,830,000		3,830,000	6,470,968	△ 2,640,968	
雑入	1,240,000	0	1,240,000	610,470	629,530	
印刷代	180,000		180,000	96,660	83,340	
自動販売機手数料	460,000		460,000	187,074	272,926	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（ ）	600,000		600,000	326,736	273,264	
収入合計	141,019,000	0	141,019,000	145,380,686	△ 4,361,686	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	71,070,000	0	71,070,000	74,799,115	△ 3,729,115	
給与・賃金	71,070,000		71,070,000	74,799,115	△ 3,729,115	
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	6,476,000	0	6,476,000	5,523,073	952,927	
旅費	48,000		48,000	74,920	△ 26,920	
消耗品費	300,000		300,000	300,000	0	
会議賄い費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	2,400,000		2,400,000	1,620,641	779,359	
通信費	800,000		800,000	709,480	90,520	
使用料及び賃借料	170,000	0	170,000	126,601	43,399	
横浜市への支払分	170,000		170,000	126,601	43,399	
その他			0		0	
備品購入費	1,150,000		1,150,000	1,273,920	△ 123,920	
図書購入費	150,000		150,000	0	150,000	
施設賠償責任保険	234,000		234,000	209,380	24,620	
職員等研修費	80,000		80,000	34,980	45,020	
振込手数料	4,000		4,000	44,372	△ 40,372	
リース料	1,120,000		1,120,000	1,113,409	6,591	
手数料			0	15,370	△ 15,370	
地域協力費			0		0	
事業費	5,500,000	0	5,500,000	4,874,091	625,909	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	670,000		670,000	694,628	△ 24,628	
自主事業費	4,830,000		4,830,000	4,179,463	650,537	
管理費	57,640,000	0	57,640,000	59,799,501	△ 2,159,501	
光熱水費	13,700,000	0	13,700,000	17,861,782	△ 4,161,782	
電気料金	8,300,000		8,300,000	9,719,679	△ 1,419,679	
ガス料金	3,000,000		3,000,000	5,992,284	△ 2,992,284	
水道料金	2,400,000		2,400,000	2,149,819	250,181	
清掃費			0		0	
修繕費	2,100,000		2,100,000	76,254	2,023,746	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	41,840,000	0	41,840,000	41,861,465	△ 21,465	
空調衛生設備保守	17,820,000		17,820,000	17,849,040	△ 29,040	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	24,020,000		24,020,000	24,012,425	7,575	
共益費			0		0	
公租公課	12,000	0	12,000	4,000	8,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	12,000		12,000	4,000	8,000	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	321,000	0	321,000	321,000	0	
本部分	321,000		321,000	321,000	0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	141,019,000	0	141,019,000	145,320,780	△ 4,301,780	
差引	0	0	0	59,906	△ 59,906	

自主事業費収入				6,470,968		
自主事業費支出				4,179,463		
自主事業収支				2,291,505		
管理許可・目的外使用許可収入				187,074		
管理許可・目的外使用許可支出				126,601		
管理許可・目的外使用許可収支				60,473		